

# 平成23年度 社会人のための「知的財産権公開講座」について

～ 知的財産を知って経営戦略に活かしてみませんか ～

## 1 趣旨（開講にあたって）

『我が国における「知的財産立国」を目指した取り組みに基づき、東北地域における産業界への支援策として、産・学・官が協力して知的財産に関する専門知識を共有・伝達することにより、大学と地域社会との交流及び地域産業・経済の活性化に寄与するため。』

日本大学工学部では以上の趣旨に基づき平成15年度から「知的財産権公開講座」を開講しています。特許とは？といった知的財産の基礎から、明細書の書き方、技術移転といった実務までを一貫し、第一線で活躍中の講師をお迎えしています。

是非この機会にご参加いただきますようご案内申し上げます。

## 2 開催日時

平成23年9月21日(水)～12月21日(水)

水曜日 3校時（全12講座） 13:00～14:30

## 3 開催場所

日本大学工学部 70号館1階 7014教室

## 4 開催スケジュール及び講義内容（全講座 受講無料）

No	開催日	講義題目	講義内容	講師
I 知的財産について知る				
1	9/21	知的財産権とは －知的財産権の いろいろ－	知的財産権の種類とその内容を概観する。 特許権・著作権などについて述べる。 歴史的背景についても述べる。	弁理士 福村 直樹氏
2	9/28	特許とは① －特許の概要・要件－	特許について述べる。特許の概要および特許の要件について述べる。	弁理士 石丸 康平氏
3	10/5	特許とは② －出願から権利化 まで－	特許出願から権利化までにプロセスについて述べる。	弁理士 石丸 康平氏
4	10/19	明細書の書き方①	特許出願明細書の書き方について述べる。	弁理士 田村 爾氏
5	10/26	明細書の書き方②	特許出願明細書の書き方について述べる (続)。請求項や明細書の書き方などについて演習する。	弁理士 田村 爾氏
6	11/2	明細書の書き方③	特許出願明細書の書き方について述べる (続)。請求項や明細書の書き方などについて演習する。	弁理士 福村 直樹氏

7	11/9	特許戦略と特許情報	特許戦略の意義と特許情報の活用について述べる。特に、生きた知財戦略事例－アイジー工業株式会社の場合－について具体例をあげて述べる。	知的戦略研究所 所長 滝口 英喜氏
<b>II 産業競争力と知的財産</b>				
8	11/16	知的財産を巡る政府の取組み －知的財産立国を目指して－	政府の知的財産政策（知的財産基本法・知的財産推進計画など）について述べる。また、大学における知的財産の活用について述べる。	特許庁総務部 企画調査課 知的財産活用 企画調整官 中村 敬子氏
9	11/30	大学の知的財産権 －大学における発明への取り組み－	大学における発明の重要性およびTLOの機能と役割について述べる。	弁理士 石丸 康平氏
10	12/ 7	産学連携	産学連携のあり方、進め方、取り組む上での留意事項について述べる。また、産業界の立場、大学の立場を踏まえた連携のあり方についても述べる。	会津大学 産学イノベーションセンター特任教授 本杉 常治氏
11	12/14	研究開発と特許 －職務発明と活用－	職務発明とその活用について、研究開発における特許（職務発明）の実例をあげて述べる。発明の報酬についても述べる。	弁理士 水野 博文氏
12	12/21	技術移転	技術移転の意義及び技術移転の進め方について実例を示して述べる。	知的財産アドバイザー 相澤 正彬氏

## 5 受講申し込み方法

市民の皆様が受講（聴講）される場合には事前の申し込みが必要です。  
受講を希望される方は、必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。

- (1) 受講希望日・郵便番号・住所・氏名・電話番号・会社名（所属・役職）を明記してください。
- (2) 申し込みは各講座の2日前までをお願いします。

FAX送付先：024-956-8888

※ ご記入いただいた内容については、今回の公開講座に関する手続きにのみ使用いたしません。

## 6 お問い合わせ先

日本大学工学部 教務課 「知的財産権公開講座」係

TEL：024-956-8623

FAX：024-956-8888